

平成19年度JCI 四国支部第1回拡大幹事会議事録

日時：平成19年4月2日（月） 14：00～17：00

場所：香川大学工学部安全システム建設工学科会議室

出席：堺支部長、氏家、熊沢、橋本、古田、安藤幹事、横井常任委員、竹下本部理事

欠席：島幹事、吉良常任委員

配布資料

- 1-1 JCI 四国支部平成19年度第1回拡大幹事会次第
- 1-2 H18年度JCI 四国支部第2回拡大幹事会議議事録(案)
- 1-3 第3回JCI 四国支部総会次第
- 1-4-1 平成18年度JCI 四国支部事業報告
- 1-4-2 平成18年度収支決算及び平成19年度収支予算(案)
- 1-4-3 平成19年度JCI 四国支部事業計画(案)
- 1-5-1 「フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する研究委員会」
平成18年度活動報告
- 1-5-2 「平成18年度JCI 中国・四国支部共催コンクリート工学セミナー」 案内
- 1-5-3 「平成18年度生コンセミナーin高知」 案内
- 1-5-4 「平成18年度JCI 四国・中国支部共催コンクリート学セミナーin松山」
ーコンクリート工学における最近の技術の現状ー 案内
- 1-5-5 「コンクリート構造物の非破壊検査技術の昨日・今日・明日」に関する講習会 案内
- 1-5-6 「H18年度JCI 四国支部現場見学会開催」の案内
- 1-5-7 新刊コンクリートライブラリー126号「施工性能にもとづくコンクリートの配合設計・施工指針
(案)」に関する講習会 案内
- 1-6 コンクリート診断士試験高松実施に関する要望書
- 1-7-1 平成17年度及び18年度JCI 四国支部役員名簿
- 1-7-2 常任委員変更願い

審議事項

1. 会長挨拶

堺支部長より拡大幹事会議の開催にあたり、挨拶が行われた。

2. 平成19年度JCI 四国支部第2回拡大幹事会議事録(案)の確認

資料1-2に基づき、堺支部長より、平成19年度JCI 四国支部第2回拡大幹事会議事録について説明がなされ、承認された。

3. 第3回 J C I 四国支部総会次第の確認

資料 1-3 に基づき、堺支部長より、第3回 J C I 四国支部総会次第について説明がなされ、承認された。

4. 平成 1 8 年度 JCI 四国支部事業報告

資料 1-3 に基づいて、以下の審議がなされた。

(1) 「フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する研究委員会」について

- ・ 資料に基づいて、橋本幹事より委員会の具体的な活動内容について説明、報告がなされた。
- ・ 本委員会の H 1 9 年度の継続を確認した。

(2) 講演会

① 「平成 1 8 年度 J C I 中国・四国支部共催コンクリート工学セミナー」

- ・ 資料 1 - 5 に基づき、橋本幹事より講演会の内容について報告がなされた。
- ・ 中国・四国共催でこれからもセミナーを行っていくことを確認した。

② 「生コンセミナー in 高知」

- ・ 横井常任委員より、平成 1 9 年 1 月 2 6 日高知で開催された生コンセミナーについて報告がなされた。
- ・ 講演旅費等補助として 5 万円を支出した。
- ・ 約 100 名もの参加者があり、盛況に終えることができたが、次回セミナーの参考となるようなアンケートを実施すれば良かった、という反省点が上げられた。

③ 「平成 1 8 年度 J C I 中国・四国支部共催コンクリート工学セミナー in 愛媛」

- ・ 氏家幹事より、平成 1 9 年 2 月 9 日松山で開催されたコンクリート工学セミナーについて、報告がなされた。
- ・ 今年度も四国・中国支部共催でセミナーを行っていくことを確認した。

(3) 講習会

資料 1-5-5 を用いて橋本常任委員より説明があった。

(4) 現場見学会

資料 1-5-6 を用いて安藤常任委員より説明があった。

(5) コンクリート技士・主任技士試験

堺支部長より、試験は滞りなく運営され、全国 9 ヶ所の試験地のうち、コンクリート技士・主任技士試験ともに合格率が全国 9 ヶ所の試験地平均より上回っており、コンクリート技士試験に関しては最も高かったことが説明された。今後も高松で試験を実施する。

日 時：平成 1 8 年 1 1 月 2 6 日

場 所：香川大学工学部

	コンクリート技士	コンクリート主任技士
受験申込者数	318名	88名
受験者数	274名	76名
合格者数	104名 (38.0%)	9名 (11.8%)
全国平均	(28.3%)	(11.5%)

(6) コンクリート教育への助成

前年度、高知県立宿毛工業高等学校の根口百代教諭を代表に支給することが決定していたため、根口教諭の転任先である高知県立高知工業高等学校へ10万円の助成金を支給した。

(7) ホームページ運営

横井常任委員より、現在のホームページのアクセス数が一日につき10～20件程あり、徐々に増加しているとの報告があり、更に内容を充実させていくこととなった。

(8) 会員増強

堺支部長より、資料1-10・1-11を用いて現在の会員数について説明があり、今後も会員数増強の努力することを確認した。その方法として、以下のことを実施することとなった。

- ① 全国生コンクリート工業組合連合会 四国地区本部（本部長：松永雪夫氏）を通じてより多くの法人入会を依頼する。
- ② 四国コンクリート技術懇話会会員へダイレクトメールを郵送する際に、入会案内を同封する。
- ③ 11月25日実施のJCI技士試験の際、入会申込書を配布する。
- ④ 生コンクリート品質監査会議において、「コンクリート工学誌」を工場で備えるべき図書として位置付ける方向で検討する。
- ⑤ その他、JCI四国支部の幹事・役員は広く入会を勧誘するよう努める。

5. 平成18年度収支決算及び平成19年度収支予算(案)の確認

資料1-4-2を用いて、堺支部長より、平成18年度収支決算及び平成19年度収支予算(案)について説明がなされた。講習会・講演会の経費を5万円増額すること、及び給与を月3000円増額し、15000円とすることとした。

6. 平成19年度JCI四国支部事業計画(案)の確認

(1) 研究委員会活動

「フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する研究委員会」に加え、氏家幹事を委員長として、新しく「アセットマネジメント」に関する委員会を設立することとなった。

(2) 講演会

- ①「生セミナーin 徳島」を開催することとなった。
- ②「JCI 四国・中国支部共催コンクリート工学セミナーin 香川」を開催することとなった。

(3) 講習会

- ①新刊コンクリートライブラリー126号「施工性能にもとづくコンクリートの配合設計・施工指針(案)」

主催：(社) 土木学会四国支部

共催：(社) 日本コンクリート工学協会四国支部

後援：四国コンクリート技術懇話会

日時：平成19年6月22日 13:00～17:30

場所：マリンパレスさぬき

5月連休明けに JCI 四国支部と四国コンクリート技術懇話会の会員にダイレクトメールを郵送する。それぞれ JCI と同懇話会で費用を分担する。

(4) 現場見学会

四国電力坂出のLPG建設現場、須崎の高速道路建設現場の順で見学地候補が挙げられた。安藤常任委員長が調整する。

(5) コンクリート教育への助成

松山工業高等学校、阿南工業高等専門学校の順で候補が挙げられた。氏家幹事が松山工業土木科に連絡することとなった。

(6) 平成19年度及び20年度 JCI 四国支部役員

資料1-7-1を用いて、堺支部長から、平成19年度及び20年度のJCI 四国支部運営を平成17年度及び18年度JCI 四国支部の運営と同じ体制で行うことの提案があり、了承された。

7. その他

特になし。

以上